



第20回自治労青年女性中央大交流集会 北海道実行委員会ニュース

第20回中央大交流集会にむけて

率直な討論から「気づき」「決意」へ！

個人の能力の問題？
それは「当たり前」？

15年7月、せたな町で開催した「第31回自治労北海道青年部夏期交流集会」では、人員不足による慢性的な超勤・個人への業務の集中など多くの問題が出されました。

職種別分散会では、「時間外勤務しても予算に上限があり、申請しても付かない」「休むと業務がたまるので休みづらい」「業務が忙しく、職場に余裕がないことで精神疾患になり休職した仲間がいる」などの厳しい職場実態が報告されています。



【写真】第31回道夏期交から

発行

【第1号】
2016年1月29日
第20回自治労青年女性中央大交流集会
北海道実行委員会

《道実行委員会立ち上げ》

道本部は、11月7日に中央大交流集会北海道実行委員会を結成しました。

交流集会運動は、「集会への参加」だけが重要ではありません。事前事後の取り組みを行い、職場から反合理化闘争を強化していくことが重要です。

産別自治労の強化にむけて、道本部青年部一丸となってガンパロー！

＜北海道実行委員会体制＞

- ☆ 実行委員長
大出 彰良 (道本部執行委員長)
斉藤 信 (道本部青年部長)
- ☆ 副実行委員長
和田 英浩 (道本部副執行委員長)
齋藤 満希 (道本部青年部副部長)
高橋 弘樹 (道本部青年部副部長)
- ☆ 事務局長
佐藤 良太 (道本部青年部書記長)
- ☆ 事務局次長
前田 華奈 (道本部青年部担当書記)
- ☆ 実行委員
各地方本部選出道本部青年部幹事

そうした実態にありながらも、「公務員はまだ恵まれている」「自分の能力の問題」と自らを納得させてしまったり、「仕事しない人に罰を与えない」など仲間の働き方に不満の矛先がむき、評価制度を歓迎する声も出されています。しかし、仲間と話すことで、「今まで当たり前と思っていたことも、『オカシイ』と気づいた」「もう一回、職場で話しをしてみたい」という気づき・決意が生まれています。

交流集会運動は、職場で起きている事実や課題を多くの仲間と率直に討論することで、一人では気が付かなかったことや自分の中の「当たり前」が「オカシイ」ということに気づくなど多くの発見がありますし、改善にむけても何ができるのかなど仲間と交流し、学びあえるところに意義があります。今年度は、2年に一度の『中央大交流集会』があります。交流集会にむけて、まずは、率直な思いを仲間と話し合うことからスタートしていきましょう！

多くの仲間と語り合おう！

総労働 VS 総資本

共闘運動に結集しよう！

春季生活闘争（略して春闘）です。自治体職場では「民間よりマシ・・・」と自粛・萎縮をしてしまい、民間職場では「公務員も賃金下がる時代」と合理化が強められ、まさに悪循環です。

この状況を打破していくためにも、職場や職種、雇用形態の壁を越え、『全ての労働者のたたかい』を展開していくことが重要です。

下記のとおり諸集会が開催されますので、積極的な参加をお願いします！

- ◆ 連合青年委員会ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾌｫｰﾗﾑ
・ 2月7日(日) 札幌市
- ◆ 第49回全国青年団結集会
・ 2月13日～14日 茨城県

第20回自治労青年女性中央大交流集会

- とき 2016年7月29日(金)～31日(日)
※北海道団として28日(木)に結団式を開催
- ところ 山梨県山中湖村 山中湖畔
- 参加締切 2月22日 第1次集約
3月25日 第2次集約
4月8日 最終集約および職種変更

2年に一度の中央交！みんなで山梨に行こう！

101単組・総支部
261人が結集!!

北海道本部青年部春闘討論集会を開催!

多くの仲間を巻き込み

職場改善のため声を上げていこう!

道本部青年部は12月19日
と20日、札幌市・自治労会
館で「2016国民春闘勝利!自
治労北海道本部青年部春闘
討論集会」を開催した。

1日目は、「公務員労働者
の賃金闘争」と題し、吉田組
織拡大オグから講演を受
けた。講演では公務員の賃金
決定の仕組みや問題点、時間
外労働における考え方など
労働者として必要な視点を
学んだ。

その後の分散会では、「人
員削減に伴う業務量増加に
より、精神疾患となり、退
職・休職する仲間が増えてい
る。そのことにより、職場に
残された仲間が更なる負担
を強いられ、悪循環になって
いるがどう対応すればよい
かわからない」「奨学金の返
済などで生活は厳しいが財
政状況等を考えると賃上げ
したいと言っている」とい

った切実な声が出された。

2日目は、相内道本部労働
安全衛生・職業病対策委員会
委員から「メンタルヘルスに
ならない職場にむけて」と題
し講演があり、「重要なのは普
段から仲間を巻き込み、変化
に気づくことであり、メンタ
ルヘルスが起きない職場にお
いて出来ることから取り組ん
で欲しい」と職場改善にむけ、
取り組みを強化して欲しい旨
の話があった。

全体討論では、「上司のパワ
ハラにより精神疾患になって
しまった仲間の実態から当局
に対し、青年層の思いを伝え
るため、独自要求に取り組ん
だ。結果として多少の改善が
はかられ、行動したことで青
年部の成長につながった」「今
まで単組での活動が停滞して
いたが、同じ思いを持った役
員が増えたことで、まずは青
年部として何が必要なのか考

えるための学習会を開催する
ことにつながった。同じ思い
の仲間が出来たことで運動の
前進につながり、仲間の必要
性を改めて感じた」など全体
で15本の発言が出され、方針
が補強された。

集会の最後に斉藤青年部長
から「私たちが安心して働き
続けられる職場環境にむけ、
声をあげることがをやめてしま
えば、改善にむけた道は閉ざ
されてしまう。仲間の思いを
把握し、恐れずに声をあげて
いこう!そのために多くの仲
間を巻き込み、組織強化をは
かっていこう!」と集約し、
団結ガンバローで集会を終え
た。



仲間に学ぶ!



★全道庁上川総支部の大衆行動★



団結ボールペン行動を展開!
上川総支部では春闘期の大衆行動として団
結ボールペン行動を展開しています。
春闘期を部員全体で意識するため、職場で
も目につきやすいようにと取り組んでいま
す。
作業の様子などもありますので、大衆行動
の参考にしてみてはどうでしょうか。青年部は、
学ぶことから始まります。近くの仲間から取
り組みについても学んでいきたいと思います!

当面する闘争方針

下記のとおり春闘期のたたかう方針を全
体で確認しましたので各地本・単組での取
り組みをお願いします!

- ①統一要求書行動
仲間の声や職場で起きている事実にと
だわり、ゆずれない要求を確立します。
- ②賃金学習の強化
「そもそも賃金とはなにか」を学び、継
続した賃金要求につなげます。
- ③地本一企画
一人ひとりが春闘をたたかう決意を固
めるため、大衆行動を軸とした地本一企画
に取り組みます。

この他、交流集会運動、平和、政治に関す
る取り組みも提起しています。